

報告・お知らせ

<電話 080-4702-1960>

■医療・介護連携此花区民講座「いつでもどこでもACP ～ACPって知ってますか?～」:10月1日(火)午後2時から開催します(於・此花区民一休ホール)。ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、意思決定・意思決定支援等に関する区民向けの講演会です。

■配布のお知らせ: 下記(1)～(2)に残部がありますので、ご希望の場合は上記までご連絡下さい。

(1)大阪市「悪質な訪問勧誘お断りステッカー」: 悪質商法防止のためのステッカーです。

(2)大阪市「ハートページ2024」(西部版): 介護サービス事業者ガイドブックです。

会内活動 ～色々な研修会・会議等に参加しました。～

◆「此花区役所保健担当との懇談」: 場所⇒此花会館他 <昨年度:10回・今年度:6回>

昨秋から、適宜開催しています。在宅医療・介護連携推進事業、遺贈(遺言書)問題、此花区災害時医療救護活動ガイドライン、ACP、意思決定・意思決定支援、第8次大阪府医療計画(在宅医療連携拠点事業)、特定健診の受診率アップ等について、縷々意見交換等を行いました。他に、訪問や「もしバナゲーム研究会」の際に、他区・他市のコーディネーターとの懇談を重ねています。

◆「此花区訪問看護ステーション連絡会」: 7月11日(木)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター) 各々案内等がありました。口腔連携強化加算への具体的取組みについて検討していくとなりました。

◆「此花区在宅医療・介護連携推進会議実務者打合せ会」: 7月26日(金)開催(於・此花区役所) 各々活動報告、案内等がありました。熱中症、悪質商法防止等に関しての注意喚起がありました。

◆「此花区認知症ネットワーク会議実行委員会」: 7月31日(水)開催(於・HABAクリニック) 「このはな認知症ケアパス」や認知症声掛け訓練について、ディスカッション等がありました。

◆「JCHO大阪病院ケア連携の会」: 7月3日(水)開催(於・同院6階講堂) 5年ぶりの対面開催! 高齢糖尿病患者のコントロール目標等に関する講演の後、事例検討がありました。

◆「大阪府医師会在宅医療担当理事連絡協議会」: 7月5日(金)開催(於・大阪府医師会館) 在宅医療連携拠点事業への取組みについて、行政担当者からの説明がありました。

◆「大阪市介護相談研修」: 7月17日(水) Zoom (利用者の権利擁護研修) 「成年後見制度を本人の権利擁護の視点で考える」と題した講演がありました。

◆「大阪市多職種研修会(北西ブロック)」: 7月22日(月)開催(於・福島区民センター) ACPに関する基調講演の後、情報交換会(グループワーク)がありました。

◆「大阪府医師会“緊急”新型コロナウイルス感染症に関するシンポジウム」: 7月25日(木) Zoom 現在の新型コロナの感染状況と、その影響下における救急医療の現状に関する講演がありました。

◆「此花区訪問介護事業所連絡会研修」: 7月18日(木)開催(於・此花ふれあいセンター) 訪問入浴介護サービスの概要説明、実演、質疑応答等がありました。

案内

●国の紅麹コールセンター: 0120-388-687(毎日9:00～21:00)

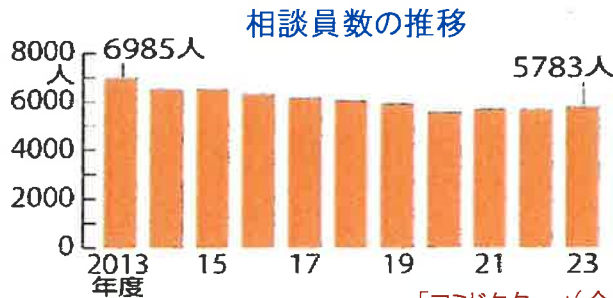
■大阪市高齢者虐待ホットライン: 06-6206-3725(平日17:30～翌9:00、土日祝・年末年始24時間)

■児童虐待ホットライン: 0120-01-7285(24時間365日対応)

■女性人権ホットライン: 0570-070-810(平日8:30～17:15)

トピックス

☆いのちの電話相談員不足:深い悩みを抱える人たちの心に、主に電話でのやりとりを通じて寄り添う「いのちの電話」(社会福祉法人などが43都道府県の53か所。昭和46年スタート)で、相談員の不足が全国的に課題となっています。高齢を理由に活動から身を引く人が増える一方、新たな担い手が集まっていないのです。相談員をすぐに増やすのが難しい背景には、養成講座の期間が約1年に及ぶことや、受講費用として数万円が必要という事情があります。



相談を受け付けている団体

いのちの電話	0120-783-556 0570-783-556
こころの健康相談 統一ダイヤル	0570-064-556
自殺対策支援センター	0120-061-338

「ヨミドクター」(令和6年7月4日)より

☆高齢者等終身サポート事業ガイドライン:国は6月11日に、高齢者等を対象に、入院や入所の身元保証人の手配、日常生活の支援、死後の事務手続きや遺品整理等を、家族や親族に代わって、民間事業者が請け負うサービスのガイドラインを初めて発出しました。留意事項として、利用者の尊厳と利用者の価値観等に基づく意思決定の尊重が謳われています。

☆健康づくり・地域医療等の推進を目的とする条例:最近地域で独自の条例を制定する自治体が増えています。大阪府内では、豊中市健康福祉条例、堺市超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの推進に関する条例、泉大津市健康づくり推進条例、河内長野市認知症と共に生きるまちづくり条例、富田林市認知症と伴にあゆむ笑顔のまち条例があります。

☆カレーライス物価指数:帝国データバンクが毎年発表しています。カレーの調理に必要な原材料や光熱費等の価格(全国平均)を基に算出した、カレーライス1食当たりのコストのことです。今年5月の1食当たりは323円となっています。昨年比では、25円のアップです、令和2年を100としたカレーライス物価指数をみますと、令和6年指数は117.8となり、前年比で8.3%上昇しています。

☆ドクターイエロー:東海道新幹線・山陽新幹線区間における点検用新幹線車両の愛称のことで、車体が黄色いことから、呼ばれています。正式名称は、新幹線電気軌道総合試験車と言います。鉄道ファンらからは「見ると幸せになれる」など、縁起物として人気があります。6月13日には、JR東海は来年1月に、JR西日本は3年後を目途に、夫々のドクターイエローの引退を発表しました。



◎「此花区在宅医療・介護連携相談支援室相談」:医療機関紹介等に関する相談がありました。

♡「まちの保健室」:7月18日(木)は10名でした。なお、7月17日(水)には、これまでの経緯と今後の展開について、関係者間の懇談がありました。

☆**おおさか防災ネット**では、気象、地震、津波情報、災害時の避難情報、お知らせなどが配信されます(防災情報メール配信サービス)。「touroku@osaka-bousai.net」から登録して下さい。なお、日本語以外の外国語(13言語)での登録も可能です。